

ワイス WAICE NOW

Wadayama Association of
International Cultural Exchange

わだやま国際文化交流協会

事務局 朝来市市民文化部和田山地域振興課
朝来市和田山町東谷213-1

TEL 079-672-6137
FAX 079-672-4041

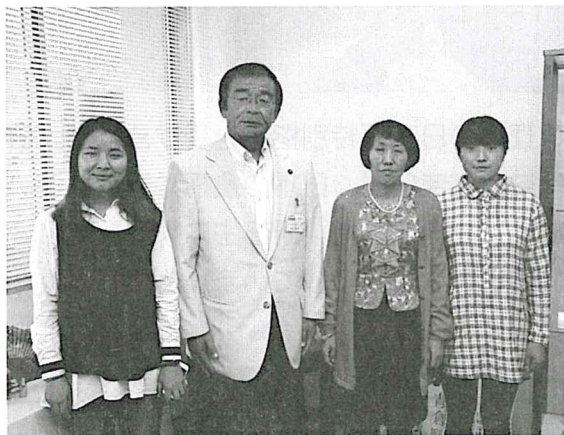
第24次 内モンゴ日本語研修留学生を迎える

ようこそ朝来市へ！ 呼和浩特民族学院 ^{ゴワー}高娃先生・^{チョウリン}張林さん・^{チリムグ}其乐木格さん

会長 垣尾 幸博

紅葉の季節を迎えており、雲海に浮かぶ竹田城跡が多くの登城者でにぎわっています。

今年度も中国内蒙古自治区呼和浩特（フフホト）市、呼和浩特民族学院で日本語を指導されている高娃（ゴワー）先生、そして2名の大学生、張林（チョウリン）さん、其乐木格（チリムグ）さんを研修生として受け入れました。期間は9月28日（月）から10月28日（水）までの1か月。高娃先生と2人の学生は、日本語の学習や日本文化の体験を意欲的に取り組まれました。

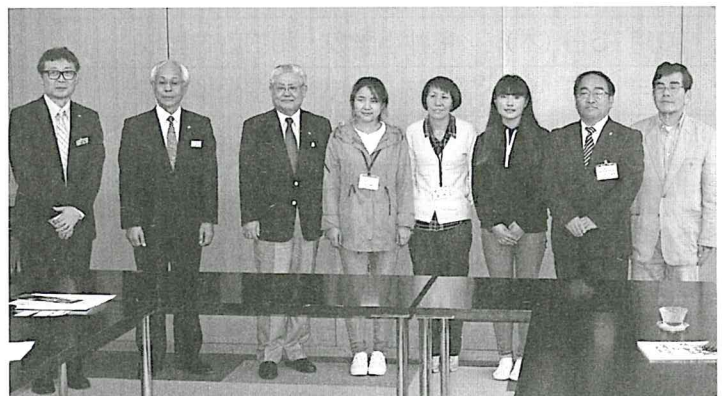


9月29日、多次市長を表敬訪問しました
(左から) 張林さん・多次市長・高娃先生・
其乐木格さん

今回の来日では次のとおり多くの関係者を訪問し、交流を深めることができました。兵庫県国際交流協会への訪問では齋藤富雄理事長（前副知事）から歓迎を受け、日本における中国からの留学生が日本語を習得する実態について、お話をいただきました。また、立命館大学で中国文化の普及に従事されている白家瑤（ハク・カヨウ）先生（北京大学教授）と面談し、わだやま国際文化交流協会の事業へのアドバイスを受けました。兵庫教育大学では福本謹一副学長の歓迎を受け、中国からの留学生の多くが履修している美術の授業を体験し、内蒙古自治区からの留学生とも交流を深めることができました。

市内では和田山中学校を拠点に小学校でも授業に参加し、民族衣装を着て内モンゴの文化を大型スクリーンに映しながら紹介しました。どの学校でも、内モンゴでは何を食べているのか、どのような生活をしているのか、動物はどんなものがいるのか等多くの質問があったということです。

また、市民ボランティアの方には、着物の着付け教室、茶道の体験、料理教室、サツマイモの収穫など日本文化や日常の生活に触れる多くの機会を提供していただきました。



10月1日、兵庫県国際交流協会にて齋藤富雄理事長と
(左から3人目)

帰国前の10月23日(金)には和田山中学校の会議室で1か月間の活動について流暢な日本語で報告発表をされました。

本年度も多くのホストファミリーの方々に、そして日本語の指導につきましては協会の山田稔理事に大変お世話になりました。心からの感謝を申し上げます。

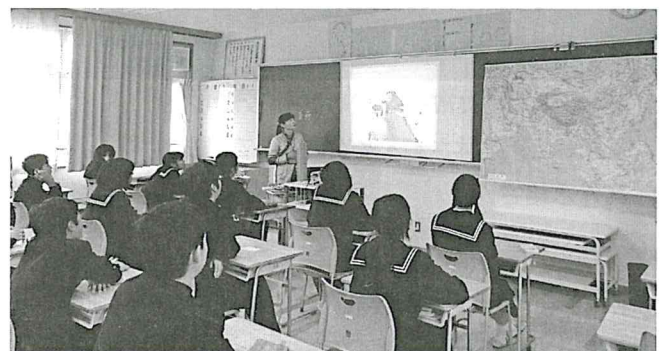
小さな草の根の国際交流活動がさらに大きく広がり、共生社会の構築につながっていくことを願ってやみません。今後もわだやま国際文化交流協会の活動に、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

研 修 日 程

9月28日(月)	関空より入国、朝来市入り
9月29日(火)	市長表敬訪問、朝来日本語教室
9月30日(水)	東河小学校・日本語特別指導
10月1日(木)	兵庫県国際交流協会表敬訪問、 神戸視察・福祉施設見学
10月2日(金)	和田山中学校
10月5日(月)	大蔵小学校
10月6日(火)	枚田小学校・朝来日本語教室
10月7日(水)	日本語特別指導
10月8日(木)	和田山中学校文化祭見学、 着物着付け・茶道体験
10月9日(金)	フジッコ和田山工場見学、 和生園との交流事業・施設見学
10月10日(土)	姫路城周辺見学、 加古川じろはったん紙芝居鑑賞
10月11日(日)	東谷区運動会参加、秋祭り見学
10月13日(火)	立命館大学訪問、京都視察、 朝来日本語教室
10月14日(水)	日本語特別指導
10月15日(木)	糸井小学校、和田山中学校
10月16日(金)	梁瀬小学校、和田山中学校
10月19日(月)	兵庫教育大学訪問
10月20日(火)	中川小学校、日本語特別指導
10月22日(木)	交流料理教室
10月23日(金)	研修発表会
10月24日(土)	南但馬自然学校行事参加
10月26日(月)	竹田城跡登城
10月28日(水)	関空より出国、中国へ



山田稔理事の日本語特別指導を受けました。日本語だけにとどまらず、日本の食事や風習について教えていただきました。研修生に大好評で、3人とも指導日を心待ちにしていました。



和田山中学校を中心に、市内5小学校へ訪問しました。内モンゴルの地理や気候、食文化について紹介したり、砂漠緑化事業の取り組みについて講義をしたりしました。

みんな研修生の話に熱心に耳を傾け、講義の後には多くの質問ができました。一緒に過ごすことが多かった和中の生徒たちは、日を追うごとに日本語が上達していく研修生に感心していました。

日本語研修を終えて

◆ 高 娃（ゴワー） 呼和浩特民族学院 外語系 日本語教師

私は2001年（14年前）の9月から11月の終わりまで、12回目の日本語の研修生として3カ月間和田山町に参りました。今回は2015年9月28日に24回目の日本語の研修生として「モンゴル民族の文化の揺り籠」と名称されている中国内モンゴル呼和浩特民族学院から、2人の学生を連れて「新しい国際交流の町～朝来市～」に参りました。

もう1回朝来市に参るチャンスに恵まれたことは、私にとってより正しい日本語を勉強して、日本をもっと深く理解するまたとないチャンスです。私はこの緑いっぱい、おいしい空気いっぱいの朝来市を訪問することができ、とても光栄です。

研修の間、和田山中学校をはじめ5つの小学校を回って授業を参観しました。授業では生徒たちの自立能力、社会生活の適応能力などが全面的に養成されています。心豊かで思いやりと勤労奉仕の心、公共の精神を育てるために道徳教育、福祉教育などが日常の教育に貫かれています。

特に感銘を受けたのは、学校教育の分野で「教育の機会均等」という特別支援教育が行われていることです。これが体の不自由な生徒や心の弱い生徒に対して実施され、生徒一人ひとりのニーズに基づいて、勉強や生活能力を養成し、自立と社会参加に向けた生きる能力を養成するのが教育のねらいです。これこそ日本民族の「共に生きる」という団結、協力精神、集団主義の具体的な表れです。

この1カ月間、朝来市で私と2人の学生は多くの日本人のお宅にホームステイをし、お母さんはおいしい日本料理を作ってください、たいへん行き届いた温かい思いやりをしていただきました。心から感謝しております。心と心がつながる思い出は、心に刻まれ、いつまでも忘れられません。研修生活中、体験した事、わかった事を自分の将来の生活、勉強、仕事にいかしてがんばっていきます。



梁瀬小学校2年生の教室にて

◆ 張 林（チョウリン） 呼和浩特民族学院 外語系 学生

「日本語の会話能力を伸ばしたいけれども、どのような練習をしたらいいのかわからない。」また、「これまでずっと日本語を勉強してきたけれども、日本語を使ってどの程度話せるのが自分ではほんやりとしかわからない。」という悩みを持っている私にとって、今回の研修はめったにないチャンスでした。

「日本語の勉強は言語の雰囲気がとても重要だ」と言われています。各家庭に滞在し、家族の一員のように暮らしながら広く生活体験ができたことを本当にありがとうございます。皆さんと一緒に過ごした日々はすごく楽しかったです。



着付け体験をしていただいた峪口さん、若林さん、西井さんと

講師の峪口さんたちから着物の着付けと茶道体験をさせていただき、大変楽しかったです。お茶の世界はとても深いものです。「その道に入らんとする心こそ、我が身ながらの師匠なりけり」この利休道歌はつまり、自分の意思で、その道を進もうとする心が一番大事だという意味です。私はこれからも自分の意思で、ここで勉強したことを活用したいと思っています。

1ヶ月でしたが、感謝するより、もっと素敵なことがあるってことに気づきました。それは、皆さんに出会えたことです。私が感銘を受けた日本語は「一期一会」です。出会いは一生一度限りという精神で、最高のもてなしをする美しい日本語です。皆さんと出会えたことは、私の一期一会です。ここで勉強したことを誇りにして、中国に帰ります。「さようなら」は言いません。今回の別れはきっと新たな始まりだとずっと信じています。お世話になりました。

◆ 其乐木格（チリムグ） 呼和浩特民族学院 外語系 学生

初めて、和田山という名前を聞いて、いったいどんなところだろうと楽しみにしていました。朝、部屋を出てびっくりしました。周りは山に囲まれて、木も高く、町の中は川も多い、町の中を歩いていてもゴミやほこりもまったく無く、どこに行っても緑がいっぱいで、大自然に恵まれたきれいな生活環境だなと感じました。

ここでは知り合いでなくても、お互いに挨拶する。わざわざ一人ずつ声をかけるのではなく、お互いに挨拶するのは常識的なことになっています。私は何度も知らない人に挨拶してもらって、とても元気で幸せな気持ちになりました。これらは日本人の素晴らしい人柄なのだと感じました。

和田山に研修生として来てから一番感動したことの一つは福祉のことです。私は初めて福祉について関心を持ちました。以前はあまり気にしないでいました。大学のボランティアとして二度老人ホームに見学に行ったことがありますけど、かわいそうな感じを持っただけです。でも、今度、初めて恵生園、真生園、和生園などのところに行ってみるとびっくりしました。そこではみんな身体になんらかの障害がある人たちが生活をされていました。でも、あの人たちは私たちより頑張って、自分の出来るだけの力で仕事をされていました。

日本に来る前、日本に留学したいと思ったことがありますが、何を学ばばいいのかについて、色々迷っていましたが、日本に留学する決意を固めました。もし、留学することが出来れば、社会福祉について勉強したいと思っています。

1カ月間、楽しく充実した毎日を送り、珍しいこともいい思い出になり、私の胸に大事にしまっておきます。



第2和生園の皆さんと：マジックショーを見せていただき、みんなで大笑いしました！

内蒙古教育視察団派遣 団員募集！

～呼和浩特（フフホト）市と上海視察の旅～

今年度も、内蒙古教育視察団を派遣いたします。視察団は、呼和浩特市を訪れ、内蒙古教育基金会、呼和浩特民俗学院等を表敬訪問します。また、上海の視察見学も予定しています。興味のある方や参加を希望される方は、わだやま国際文化交流協会（和田山地域振興課 079-672-6137）までお問い合わせください。

◆ 期間：平成28年3月頃の5日間 / 旅費：12万円程度